

2011年度

# 環境活動レポート

2011年度版(対象期間:平成23年9月～平成24年8月)



今回発行: 平成24年 10月 31日

次回発行: 平成25年10月(発行予定)

株式会社 商報舎 坊主滝事業所

株式会社 商報舎

## 環境方針

### <基本理念>

株式会社 商報舎 坊主滝最終処分場は、企業活動において、地球環境保全が最重要課題であることを認識し、環境に優しい社会に貢献します。

### <行動指針>

- 1, 環境関連の関係法令及び公害防止協定等を尊重し環境保全に努めます。
- 2, 受託する産業廃棄物の再資源化を推進する提案をすることで、リサイクルの向上に結びつけていきます。
- 3, 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び総排水量の抑制に努めます。
- 4, 環境目標を定め、継続的に改善活動を行います。
- 5, 関係官庁・団体及び地域社会とのコミュニケーションを図り、共生を推進します。
- 6, 社員及び常駐の関係者に環境方針・環境目標を周知させるとともに、公開します。
- 7, 環境方針の定期的な見直しを行います。

制定 平成23年12月 1日  
改訂 平成24年11月 1日

株式会社 商報舎

代表取締役 佐藤真介

2. 組織の概要

2-1 事業者名及び代表者名:

株式会社 商報舎 代表取締役 佐藤真介

2-2 事業活動の内容

産業廃棄物の管理型最終処分場の運営

2-3 所在地と連絡先(担当者):

事務所・処分場 : 福島県二本松市坊主滝7番地1  
 連絡先:(TEL・FAX)0243-23-5133  
 環境管理責任者 : 安齋好則  
 連絡担当者 : 鈴木秀樹

2-4 事業の規模

創業:昭和16年11月 資本金: 1,000万円  
 平成19年 3月 第三処分場竣工  
 売上高と従業員数:

規模	年	単位	2009年	2010年	2011年
			09/9~10/8	10/9~11/8	11/9~12/8
1. 受託産業廃棄物処理量		t	2679	7864	20786
2. 売上高		百万円	30	111	320
3. 従業員数		人	8	8	8
4. 総処理水量		m <sup>3</sup>	7474	5261	10344
5. 降雨量/年		mm	1253	1255	1266

2-5 許可の内容

許可番号	第00730018753号		
許可年月日	平成21年6月22日	許可の有効期限	平成26年5月22日
事業計画の区分	管理型最終処分場		
廃棄物の種類	汚泥、金属くず、鋳さい、がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く。) 以上4種類		

2-6 施設等の状況

- ① 処理施設の種類の 管理型最終処分場
- ② 処理する産廃の種類 1-5 許可の内容に記載
- ③ 処理能力 埋立地面積 : 22,356m<sup>2</sup>  
埋立容量 : 234,400m<sup>3</sup>
- ④ 処理方式 サンドイッチ工法
- ⑤ 処理工程図 末尾「処理工程概略図」に示す

3. 対象範囲

3-1. 認証の対象範囲

■ (株)商報舎 坊主滝事業所

3-2. 認証の対象活動

■ 産業廃棄物最終処分業

3-3. 全組織・全活動について

■ 事業所は全国に6ヶ所あるが、独立して事業を実施している事業所は、坊主滝事業所だけである。他の事業所は、依頼先会社の製造ラインの一部を請け負っている事業内

容であり、依頼先会社の環境経営マネジメントシステム(ISO14001)の中に組み込まれ環境経営を実施している。従って、今後、他の事業所において、エコアクション21の認証を取得するスケジュールはない。尚、本社は、経理事務(事務員2名)を行っているが、環境負荷も低いことから、今回のエコアクション21の認証範囲には含めなかったが、次回以降の中間審査で、本社機能の負荷実態及びテナントの状態を勘案して、本社機能も含める方向で検討したい。

3-4. 対象取組期間

環境活動レポートの対象取組期間

平成23年9月1日～平成24年8月31日

\* 今回のレポートは、平成23年12月からの活動の為、データがすべてまとまっていない。今後は、当社会計年度(9月～8月)に合わせ、毎年10月に発行していきます。

4. 環境目標

環境方針と環境影響評価の結果に基づき、環境目標を次の通りに定める。

環境目標
1. 二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物排出量の削減
3. 総排水量の削減
4. 化学物質使用量の削減
5. グリーン購入の推進
6. 社会貢献活動への積極参加

以上の環境目標の達成期限は、平成25年8月とする。すなわち毎年見直しを行います。

4-1 主な環境負荷の実績

平成23年9月1日～平成24年8月31日の当社における主な環境負荷の実績は、下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量(kg-CO2)			廃棄物排出量(t)		総排水量(m3)
電力(係数:0.468)	灯油・LPG	ガソリン・軽油	一般廃棄物	産業廃棄物	(水使用量)
13100.724	636.011	29172.62	0.07	6.160	85.000

\* 平成21年度、東北電力㈱のCO2排出係数0.468(kg-CO2/kWh)を使用

4-2 環境目標(短期・中長期)の設定

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の必須3項目並びに自主設定項目について、単年度目標並びに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標
	2012年度(2012.9～2013.8)	2012～2016年度(5年間)
二酸化炭素排出量	昨年度同期比原単位1%削減	2016年度までに2011年度実績の原単位3%削減を目指す。
廃棄物排出量	昨年度同期比原単位1%削減	2016年度までに2011年度実績の原単位3%削減を目指す。
総排水量(水使用量)	昨年度同期比原単位1%削減	2016年度までに2011年度実績の原単位3%削減を目指す。
化学物質使用量	PRTR法対象物質は使用していない。その他の物質を3品目①PAC②10%硫酸③消石灰使用しています。但し、処理工程が決められており自らの判断で削減することができませんが化学物質を適正に管理していることを定期的に確認します。	
グリーン購入	現状を把握する	2016年度までに2012年度実績のグリーン購入率を80%とする。
社会貢献活動	搬入路の整備等	搬入路の整備等

4-3 2012年度(取組対象期間)環境目標値

4-1 の考え方に従って、2011年度実績を基に、2012年度(H.24.9~H.25.8)の具体的目標値を下記のように算出(廃棄物処分量による原単位)しました。

	2011年度実績 (H.23.9~H.24.8)		2012年度目標 (H.24.9~H.24.8)	
		原単位		原単位
二酸化炭素排出量				
1)電力	13100.72 kg-CO2	0.63	11年原単位の1%減 12969.71	0.62
2)灯油・LPG	636.01 kg-CO2	0.03	11年原単位の1%減 629.65k	0.03
3)ガソリン・軽油	29172.62 kg-CO2	1.40	11年原単位の1%減 28880.90	1.39
廃棄物排出量				
1)一般廃棄物	0.07t		11年実績の1%減 0.07t	
2)産業廃棄物	6.16t		11年実績の1%減 6.10t	
総排水量(水使用量)	85.00 m <sup>3</sup>	0.00	11年原単位の1%減 84.	0.00
化学物質使用量	PRTR法対象物質は使用していない。その他の物質を3品目(①PAC②10%硫酸③消石灰)使用しています。但し、処理工程が決められており自らの判断で削減することができませんが化学物質を適正に管理していることを定期的に確認します。			
グリーン購入	データ無し		グリーン購入を推進していく	
社会貢献活動	搬入路の整備		搬入路の整備	

\* H.23.9~H.24.8廃棄物処分量 20786.00 t

5. 環境活動計画

5-1 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

- ◆室内温度は、冷房時28℃、暖房時20℃の設定とする
- ◆電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する
- ◆昼休み等、不要な照明を消灯する
- ◆席を離れるときは、PCをスタンバイモード、外出時はシャットオフ
- ◆電気スイッチ付近に節電のステッカーを貼り、意識の徹底を図る

②灯油使用量の削減

- ◆室内温度は、暖房時20℃の設定とする

③ガソリン・軽油使用量の削減

- ◆エコドライブの徹底
- ◆車両入れ替え時は、エコカーを優先して購入する
- ◆無駄なアイドリングをしないよう意識の徹底を図る

5-2 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物

- ◆分別を徹底し、可能な限りリサイクルする
- ◆外部からのゴミはなるべく持ち込まない
- ◆両面コピーや縮小コピーの励行

②産業廃棄物

- ◆マニフェストをもとに適正な処理を行う
- ◆産業廃棄物の再資源化に取り組みリサイクル率の向上を図る

5-3 排水量(水使用量)の削減

- ◆洗車時や手洗い時など、水を出しっぱなしにしない
- ◆手洗い場などへの節水ステッカーの貼り付けし意識の徹底
- ◆水処理施設からの排水量の削減

5-4 化学物質使用量

- ◆化学物質使用量の適正管理に努める

5-5 グリーン購入の推進

- ◆コピー用紙等のグリーン購入の推進

5-6 社会貢献活動の推進

- ◆地域の清掃活動等に積極的に参加する
- ◆搬入路などの道路整備、草刈り等の実施

5-7 浸出水の排水の水質管理

- ◆社内で、排水基準を設けて適正に管理する

	県条例	二本松市条例	社内基準
PH	5.8~8.6	5.9~8.1	5.9~8.1
BOD	25	20	17
COD	25	20	17
SS	70	40	20
油分	5	5	3

6. 環境目標の実績(H. 23. 9~H. 24. 8)

対象取り組み期間における環境目標の達成状況は下記に示すとおりでした。

6-1 二酸化炭素排出量

①全体(目標:1%削減)

	2010年度実績	2011年度目標	2011年度実績	削減量※1	削減率%	評価※2
kg-CO2	18532.09	18513.56	42909.35	▲ 24395.79	▲ 131.77	×
原単位	2.44	2.42	2.06	0.36	14.88	◎
廃棄物量	7604.00	—	20786.00	—	—	—

[コメント]搬入量に対する原単位での評価としたい。

二酸化炭素排出量全体の原単位では、昨年同期比14.88%減となりました。

②電力使用(目標:1%削減)

	2010年度実績	2011年度目標	2011年度実績	削減量※1	削減率%	評価※2
kg-CO2	6111.14	6105.03	13100.72	▲ 6995.69	▲ 114.59	×
原単位	0.80	0.79	0.63	0.16	20.25	◎
廃棄物量	7604.00	—	20786.00	—	—	—

[コメント]昨年度同期比、原単位は20.25%減となりました。

kg-CO2だと、10年より11年は電力使用量も廃棄物量も増えたため増加となりました。

③灯油・LPG使用(目標:1%削減)

	2010年度実績	2011年度目標	2011年度実績	削減量※1	削減率%	評価※2
kg-CO2	6.00	5.99	636.01	▲ 630.02	▲ 10510.8	×
原単位	0.00	0.00	0.03	▲ 0.03	—	—
廃棄物量	7604.00	—	20786.00	—	—	—

[コメント]10年度は、データ収集が途中からだった為、原単位は0.00だった。

11年度は、廃棄物の量も多くなり原単位が、少ない値だった。今後、データをしっかりとって削減に努めていきたい。

④ガソリン・軽油使用(目標:1%削減)

	2010年度実績	2011年度目標	2011年度実績	削減量※1	削減率%	評価※2
kg-CO2	12414.94	12402.53	29172.62	▲ 10770.09	▲ 135.22	×
原単位	1.63	1.61	1.40	0.21	13.04	◎

廃棄物量	7604.00	—	20786.00	—	—	—
------	---------	---	----------	---	---	---

[コメント]昨年度同期比13.04%減となりました。

昨年度は、2年目であったため、廃棄物量が少なかったため、原単位は、大きい。

今年度は、3年目で廃棄物の量が多くなってきたため、原単位が小さい。

kg-CO2だと、10年より11年はガソリン、軽油使用量、廃棄物の量も増えたため増加となりました。

※1---削減量・低減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2---評価◎→達成できた、○→削減したが目標未達成、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

## 6-2 廃棄物排出量

### ①一般廃棄物(目標:分別の徹底と現状把握)

燃えるゴミと不燃ゴミの分別を開始し、データ収集を始めたところです。

両面コピーや裏紙の再利用などの徹底などを継続中で、数値目標の設定は、次年度からになります。

### ②産業廃棄物

データ収集しているところです。数値目標の設定や原単位での確認は、次年度からになります。

## 6-3 総排水量・水使用量(目標:1%削減)

地下水(ボウリング井戸)のため、メーターを設置し、データを収集します。評価は、次年度からになります。

洗車時や手洗い時に出し放しにしないよう節水の徹底を図っていききたい。

## 排水処理施設の処理水量

	2010年度実績	2011年度目標	2011年度実績	削減量※1	削減率%	評価※2
m <sup>3</sup>	5261.00	5255.74	10344.00	▲ 5088.26	▲ 96.81	×
原単位	0.69	0.68	0.50	0.18	26.47	◎
廃棄物量	7604.00	—	20786.00	—	—	—

[コメント]雨量との関係と処分場面積並びに搬入量により変動する。が昨年度より原単位で削減された結果となった。

## 6-4 化学物質使用量の削減

PRTR法対象物質は使用していない。その他の物質を3品目(①PAC②10%硫酸③消石灰)使用している。但し、処理工程は決められており自らの判断で削減することはできませんが化学物質の適正に管理していることを定期的に確認します。

## 6-5 グリーン購入の推進

データ収集をします。コピー用紙は購入済み。また、今年のカレンダーもグリーン対象品を選定し購入しました。

## 6-6 社会貢献活動の推進

搬入路の整備や冬季間の除雪を実施した。夏季には、搬入路の除草作業、道路の整備の推進をしていく計画である。

7. 環境活動計画の取組結果の評価並びに次年度の取組内容

7-1 環境活動計画の取組状況の評価

○…十分に取組んだ △…ある程度取組んだ ×…取組み不十分(未実施) —…評価保留

取組項目	具体的動計画	評価	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	◆室内温度は、冷房時28℃、暖房時20℃の設定とする	△
		◆電気製品の買い換えの際は、省エネタイプの機器を選定する	—
		◆昼休み等、不要な照明を消灯する	○
		◆席を離れるときは、PCをスタンバイモード、外出時はシャットオフ	△
		◆電気スイッチ付近に節電のステッカーを貼り、意識の徹底を図る	○
	灯油使用量の削減	◆室内温度は、暖房時20℃の設定とする	△
	ガソリンの削減・軽油使用	◆エコドライブの徹底	○
		◆車両入れ替え時は、エコカーを優先して購入する	○
		◆無駄なアイドリングをしないよう意識の徹底を図る	○
廃棄物の削減	一般廃棄物	◆分別を徹底し、可能な限りリサイクルする	○
		◆外部からのゴミはなるべく持ち込まない	○
		◆両面コピーや縮小コピーの励行	○
	産業廃棄物	◆マニフェストをもとに適正な処理を行う	○
		◆産業廃棄物の再資源化に取り組みリサイクル率の向上を図る	△
排水量(水使用量)の削減	◆洗車時や手洗い時など、水を出しっぱなしにしない	○	
	◆手洗い場などへの節水ステッカーの貼り付けし意識の徹底	○	
	◆水処理施設からの排水量の削減	△	
化学物質使用量の削減	◆化学物質使用量の削減及び適正管理に努める	○	
グリーン購入の推進	◆コピー用紙等のグリーン購入の推進	○	
社会貢献活動の推進	◆地域の清掃活動等に積極的に参加する	○	
	◆搬入路などの道路整備、草刈り等の実施をする	○	

7-2 次年度の取組内容(方向性)

活動を開始して、9ヶ月が経過し、まだ、データ収集も完全ではないため12年度も11年度の活動内容を推進していきたいと考えています。また、活動をしていく中で、新しい取組み内容が出てきたら都度、取り入れていきたい。



## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

現在まで、環境関連法規等の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、過去3年間関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についてもありません。

### 8-1 環境コミュニケーション

毎月末に、地元の環境委員会の人たちと処分場の現状報告及び意見交換会を実施しています。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

### 9-1 環境経営システムの有効性の評価

昨年12月にキックオフしましたが、エコアクション21の環境マネジメントシステムの理解が、不十分であり、対応が、行き届かなく後手に回ることが多く、積極的な取り組みが、出来ずに経過してしまいました。したがって、現段階に於いては、システムが有効に機能しているとは、言い難く、今後、環境管理責任者を中心として、全従業員にエコアクション21の取り組みの意義を周知し、積極的な取り組みをしていけるようにしていきたい。

### 9-2 環境経営システム変更の必要性

現段階では、「環境方針」「環境目標」「環境活動計画」等、システムの主要部分について、大幅な変更の必要はないと判断しています。ただし、「環境方針」の2. について内容を一部見直しをしました。(別紙、改正履歴書)

### 9-3 次年度以降の取り組みの方向性

平成24年8月末までの取り組み結果をまとめたところ、データ収集が完全ではなく分析が不十分なところもあった。また、第3処分場の稼働から3年経過し、年々搬入量も増えてきたため10年度実績から11年度目標を決定しましたが、原単位では下がりましたが、重機類の使用時間がふえたことにより、燃料使用量増、水処理施設の運転時間増によりCO2の排出量は、増加した結果となった。

11年度は、集計が9ヶ月と1年に満たないため、取り組みに関しては、12年度も引き続き11年度の取り組みを踏襲していきたいと考えている。

